

KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international

国際ロータリー 「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

R.I. 会長 シェカール・メータ

地区方針 「ロータリーのパワーは親睦が生み出す！
あらゆる場面を親睦の機会に～話しかけよう～」

R.I. 2720 地区 ガバナー 大森克磨

熊本グリーンRC 「繋げよう・伝えよう 希望を！」

熊本グリーンRC 会長 田中純司



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～
2022年度
テーマ

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：田中純司 ■幹事：田中慎二 ■会報担当：江上泰弘
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第1427回

令和3年11月22日

2021 - 2022 年度 第14回

【例会】

★コロナウイルス感染防止の為、ロータリーソングは「マスク着用」にて歌唱します。
・「手に手つないで」(ロータリーソング)

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

来訪者紹介 (田中純司 会長)

卓話者: ビジター 熊本RC 櫻井貴浩 君

友情の握手

*今年度より暫く「グータッチ」で行います。

会長スピーチ (田中純司 会長)

先週はSDGsの話をしました。「持続可能な開発目標」ということです。ここでの環境問題解決のために国連気候変動枠組条約締約国会議 (United Nations Climate Change Conference)、通称「COP26」が

11月1日から12日までイギリス・スコットランドのグ

ラスゴーで開催されました。地球温暖化防止のために、化石燃料(特に石炭火力発電)の削減と持続可能なエネル

ギー(太陽光や風力)への転換等について決議されました。

これらは主に入り口の話で、日本のいろんな分野で出口としてのガソリン車からEVへの転換など努力しているところです。私がいる建築業界でも取り組みがなされています。何回か換気の話をしました。この空調換気扇(ロスナイ)に触れました。この製品は環境を配慮した物の一つです。このような製品の使用を促進させるべく建築物省エネ法が以前からありましたが、今年度の4月から適用範囲が広げられて、基準適合義務及び適合判定義務が課せられるようになりました。この法律は、建物の構造・空調機器、換気機器、照明器具、

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓話予定

- 12/6 「広安愛児園 学習支援事業について」 本田 悟士 会員
- 12/13 「米山奨学生ビデオ卓話鑑賞」
- 12/20 「年忘れ家族会」 ホテルキャッスル2F (★例会中に「年次総会」開催)
- 12/27 例会休会「定款第7条第1節に基づき」

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

給湯機器の省エネ製品使用によって建築物300m²以上の住宅には届出、非住宅には省エネ率を数値化して、基準以上の性能を要求できるようになっています。また、このように省エネを実現したうえで再生可能エネルギーを導入することにより年間の一次エネルギー消費をゼロにした建物をZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)ZEH(ゼロ・エネルギー・ビル)といいます。省エネ率を上げるためには、建物の構造では外部から侵入する熱エネルギーを小さくすること、外壁の断熱性能をあげたり、ガラス面からの光の進入を遮断するなどがあります。空調機器はAPF(通年エネルギー消費効率)の大きい製品を選ぶ、換気機器は熱の回収が出来るロスナイなどを使用する、照明器具ではLED照明器具を使用する、給湯機器はガス機器ではエコジョーズ(排熱回収)・電気機器ではエコキュートの使用などがあります。ハード的にはこうゆうことですが、実際はエアコンの設定温度を適切にする、エアコンを使用しているときは換気量を適切にする、必要のない照明は消す、お湯を流しっ放しにしないなどが大切なこととなります。

幹事報告 (田中 慎二 幹事)

■ 報告事項

今年度は、例会数が多い為、第5週は休会になっておりますので、次週11/29(月)は例会休会となりますのでお間違えの無きようお願い致します。

[例会変更・取り止め]

<例会変更>

[熊本城東 RC]

12月13日(月)の例会は、クリスマス家族例会のため、12月15日(水)に変更し、18:30より、ホテルキャッスルにて行います。サインメーカーキャップは行いません。

[熊本東 RC]

12月21日(火)の例会は、年忘れ家族会のため、同日18:00よりホテルキャッスルにて行います。

<例会取り止め>

以下の例会は、クラブ指定の休会のため、例会を取り止めます。サインメーカーキャップは行いません。

[熊本東南 RC] 12月22日(水)

出席報告

(クラブ管理運営副委員長 江上泰弘 会員)

	会員総数	23名	出席率
11月22日	出席免除会員数	1名	59.09%
	計算上会員数	22名	
	出席会員数	13名	
10月25日	前回の出席会員数	12名	72.73%
	メイクアップ数	4名	
	修正出席会員数	16名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
<ul style="list-style-type: none"> ・9/29 熊本県ローター奨学会面接選考 仙波 君 ・10/15 熊本中央RC 上田村 君 ・10/27 熊本グリーンローターアクト 本田 君 ・11/10 熊本グリーンローターアクト 山下 君 			

委員会報告

① 「熊本グリーンRAC11月第2例会」のご案内)

報告者：本田悟士青少年奉仕委員長

本日FAXにてご案内をお送りしましたが、熊本グリーンRACの11月第2例会が11月24日(水)20:00~ZOOMにて行われます。パスワード

ド等はFAXにてお知らせしております。ご参加の程をお願い致します。

②「年忘れ家族会」のご案内

報告者:河島一夫親睦担当長

今年の「年忘れ家族会」は12月20日(月)18:30~開催致します。アトラクションに 福嶋由記さんの歌をお願いしました。ピアノが11Fでは演奏出来ないのので、会場を 2F「キャッスルホール」に移動させて頂きました。子どもさんにも喜ばれる様に ビンゴやその他のゲームやプレゼントも 沢山準備致しますので、多数のご参加をお待ち致しております。

スマイル(荒木 一之 会員)

●田中 純司君、田中 慎二君、荒木 一之君、栗山 義則君、江上 泰弘君、宮部 康弘君
「先週は、熊本北RCとの合同例会お疲れ様でした。和気藹々とした例会で、しっかり親睦がはかれたと思います。今日の卓話は米山奨学生のビデオ卓話鑑賞会ですが、しっかり聞きたいと思います。」

●河島 一夫君

「熊本RCの櫻井様の御来訪にスマイル。ところで今日は11月22日、「いい夫婦の日」だそうで、今日ぐらいはそうありたいと思います。帰ってからおとなしくしておこう。」

3. 例会プログラム

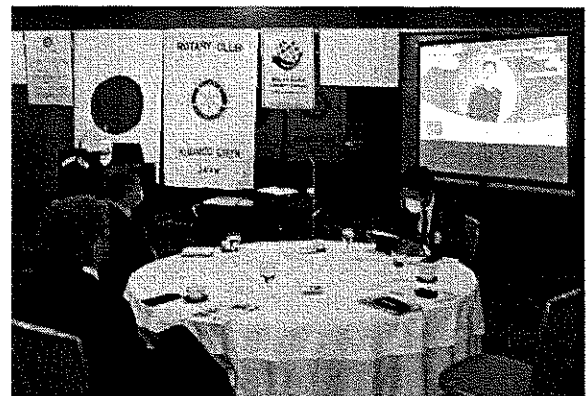
米山奨学生ビデオ卓話鑑賞

ツォグトサイハン・テンギスボルト君

国籍:モンゴル 男性



ツォグトサイハン・テンギスボルト君



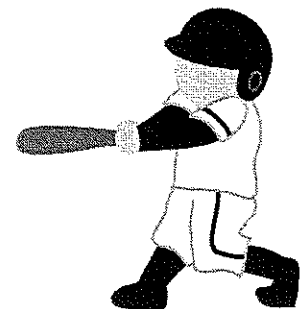
例会の様子

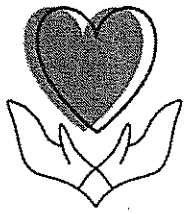
4. 閉会・点鐘

【グリーン豆知識】

★ホークスの2本線

ソフトバンクホークスのユニフォームに、2本の線が入っているのは何故か知っていますか。実はソフトバンクが創業された時、孫正義会長が、あの坂本龍馬が長崎で海援隊を創って活躍していた頃の旗印(紋所)が2本線であったことにヒントを得て、自社のシンボルマークに取り入れたものです。今ではグループの全てのものに2本線が入れられているとのことです。(仙波)





1. 2022 学年度奨学金申込み状況

10月15日に締め切りを迎えた2022学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士／地区奨励）には、指定校563校（地区を超えた指定校の重複含む。前年度576校）から1,298人（1,427人）が推薦されました。

大幅な減少ではないものの、新型コロナウイルスの影響により依然として海外からオンラインで授業を受けている学生が多く、申し込みが0人の指定校や、地区が指定した人数に満たない推薦者数しか出せない指定校も出てきています。

被推薦者の国籍・地域は、中国54.2%（55.9%）、ベトナム13.8%（11.1%）、韓国8.8%（8.8%）、マレーシア3.5%（3.4%）、次いでインドネシア、ネパールの順となっています。

課程別の応募状況は、博士課程20.5%（20.4%）、修士課程33.3%（36.6%）、学部課程43.1%（41.1%）となっており、大学院在籍者の応募が年々減少傾向にあります。なお、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、9地区15校から計29人の応募がありました。

2. バーチャルツアーで広島を学ぶ

10月30日、第2750地区（東京都）米山記念奨学委員会が「広島バーチャル研修旅行」を開催し、地区内の米山奨学生ら約50人が参加しました。

同地区では毎年、奨学生を対象とする日本文化体験旅行を実施していますが、今年は新型コロナウイルスの影響を鑑み、オンラインでのツアー開催となりました。

当日は、参加者の自宅に届けられた広島銘菓を味わいながら折り鶴を折り、プロのガイドによる案内のもと、原爆ドーム・平和記念公園・宮島など、あたかも本当にバスで広島を巡っているかのような没入感でした。特に、第2710地区の諏訪昭登バスターナーの講話は、自身の被爆体験や戦争の悲惨さ、そして、ロータリー



諏訪バスターナーの講話

が提唱する国際理解と世界平和、さらに、米山記念奨学事業の意義を語る感動的なもので、多くの参加者が真剣に耳を傾けて聞き入りました。

ツアーを終えた奨学生からは、「歴史教育は国によって異なるが、母国を離れて日本にいる私が歴史を正しく認識・理解し、友好関係を築くための懸け橋になることが重要だと感じた」、「帰国したら日本語教師として中国の子どもたちに自分が感じた真の日本を伝え、海の向こうに世界平和に向けて努力している方々が大勢いることを伝えたい」といった声が寄せられました。



バスの車内さながらのバーチャルツアー（宮崎地区米山奨学委員長）



記念写真